



島中だより

【今年度の重点目標】

新しい社会を
創り出す
能力や態度の育成

令和8年2月27日 第11号

学校ホームページも随時更新中!



卒業を控えた8名の皆さんへ

「全力を尽くせ！！無限の可能性を开花させろ！」

校長 梶原 大

3年生のみなさんへ。3月の学校だよりは皆さんに向けた学校だよりを出すことができないので、この2月号で皆さんへのメッセージをお伝えいたします。

3年生の皆さん卒業が間近ですね。公立高校入試が終わっていないので、まだまだ気を抜くことができませんが、3月13日（金）で9年間の義務教育が終了します。中学校3年間はどうかだったでしょうか？この3年間でずいぶん成長したことでしょう。

ところで自分の成長を自分で理解していますか？身長、体重は目に見えて分かるものだと思いますが、外見ではない「内面の成長」がどれくらいあったのでしょうか？その成長を理解することが、中学校を卒業することでもあると思います。そしてみんなはまだ若い！成長する伸びしろはまだまだあるのです。この3年間で自分はどのように成長したか、卒業する日を迎え、もう一度よく考えてほしいです。そして次のステップに向けて自分は「どのように成長したいのか？」言い換えると「どういう人間に成長したいのか？」それははっきり持つことです。具体的には「目標をもつこと」です。「目標を持っている人は強い！」そして、「みんなの可能性は無限大だ」ということです。なりたい自分になれる可能性があるのは今のうちだけです。今年55歳になる私は、今からどんなに頑張ってもオリンピック選手にはなれないでしょう。しかし、皆さんにはその可能性が十分にあります。金メダルだって狙える状況にあるのです。今の皆さんにとって、可能性は無限大で、平等にその可能性が 있습니다。ただ、その無限の可能性が平等にあるとしても、それを开花させるのは平等には訪れません。その可能性を开花させるのは『自分自身』でしかないのです。もちろん周りの環境やサポートが必要ですが、やはり『自分自身』で何とかしていこうとするかどうかにかかっているんです。

少し難しい話になったので、話を変えます。みなさんは上級学校へ進学すると思いますが、高校生活は中学校生活とは違う『楽しさ』があります。そして、今まで制限があってできなかったことができる年齢にもなります。アルバイト（勤労）もできるし、車の免許だって高校の許可があれば取得も可能です。義務教育を卒業して自ら進む進路ですから、高校で頑張るのも、頑張らないのも、卒業するのも、中退するのも、自分が選択してできるのです。そういった意味では、自分次第で『楽しいもの』または『無意味なもの』に変えることができると思います。

次のステップを思う存分楽しんでください。そして、大いに自分の可能性を开花させてください。

15歳の春バンザ〜イ。うらやましいなあ〜。

この文章は卒業文集にも載せてもらっていますが、1・2年生の皆さんにも読んでもらいたくて、あえて今回掲載しました。1年後、2年後に皆さんも同じ状況になりますから、皆さんも今から無限の可能性を开花させてほしいです。

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。1月15日（木）に24名全員が登校してスタートした3学期ですが、おかげをもちまして、今年度も残すところわずか（登校日数 3年生10日間、1・2年生16日間）となりました。3月の卒業証書授与式そして、修了式にむけて、職員一同最後まで全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

福祉学習発表会 ～私たちのアイデアはいかがでしたか？～

2年生の総合的な学習の時間では、「福祉学習」を行っています。前号でお伝えしたとおり、これまでの学習で村内の「元気センター」と「潮の音」の2つの施設を生徒が訪問し、高齢者の方への福祉サービスの現場を直接見て、実際に仕事を体験してきました。ここで得た情報や体験を生かし、生徒一人一人が高齢者の方向けの「レク」を考案し、19日(木)に発表会を実施して発表しました。一つ一つのレクには、高齢者の方が楽しめることはもちろん、健康維持にも役立つよう考えが込められていました。発表会にはお世話になった各施設の職員の方や役場福祉課の方、さらに保護者の皆様もお越しくださり、生徒のアイデアを聞き、体験していただきました。今回の体験を通じて得た気づきや学びを、これからの学校生活や地域での活動にも生かしていけることを期待しています。

発表は、このような「ブース形式」で一人ずつ行いました。



各ブースでは、発表(プレゼンテーション)に加えて、実際にレクを体験できる場面も用意しました。生徒のアイデアに込められた考えがよくわかりました。

思春期教室 ～望ましい距離感について、考えを深めました～

20日(金)に、役場福祉課の保健師である大森紗矢香さんをゲストティーチャーにお招きして行いました。今回のテーマは、「性的同意」についてでした。2023年7月に施行された性犯罪に関する法改正について、中学生の年齢に応じて理解できるように、わかりやすい説明が行われました。具体的には、「嫌だ」という気持ちを大切にしていよこと、相手の気持ちを確認することの大切さ、そしてお互いに尊重し合う関係が必要であることといったポイントを、丁寧に学ぶことができました。今後も、生徒が安全・安心に学校生活を送り、人との関わりの中で健全に成長していけるよう、引き続き教育活動を進めてまいります。



自分自身を大切にすること、そして相手も同じように大切にすることの意味を考える貴重な時間となりました。

生徒総会 ～生徒の主体性が高まっています～

25日(水)の生徒総会では、半年間の取組や、次年度につなげたい改善点などが報告されました。内容としては大きなトピックがあったわけではありませんが、特筆すべきは「進め方」です。今回は、事前リハーサルを行いませんでした。議長団をはじめ、各委員長や生徒会執行委員は、自分たちで流れを確認しながら、状況に応じて柔軟に議事を進めました。この主体的な進行は、今月から全校集会の司会を務めている執行委員会の姿勢ともつながっています。執行委員会は、集会でも原稿に頼らない“ノー原稿”での進行に挑戦しており、その経験が今回の総会にも生かされていました。生徒たちが「与えられた役割をこなす」段階から、「自分たちで考え、判断しながら行う」段階へと確実に成長していることが感じられました。



これからも主体的に取り組みます！

第3回いじめアンケートより

学校では、いじめを見逃すことなく早期の対応をするために、定期的に「いじめアンケート」を行っています。1月に実施したいじめアンケートからは、新たないじめの事実は見つかりませんでした。しかしながら、アンケートのみですべてを把握できるものではありません。今後も、「島牧中学校いじめ防止基本方針」をもとに、「いじめは絶対に許さない」を徹底して、いじめの未然防止・早期発見・適切な指導を行っていきます。また、いじめに関わらず、生徒が嫌な思いをしたり悩んだりしたときに、自分で抱え込まずに誰かに相談できることがとても大切です。学校では、「悩んだときには誰かに助けを求めよう」と生徒に指導しています。ご家庭でもご理解・ご協力のほど、よろしくをお願いします。